

# 令和5年度 片原一色小学校学校運営協議会 第3回会議報告

令和5年2月29日（木） 10:30～12:00 於 会議室

## 1 開会の言葉

（参加者）地域代表4名、保護者代表3名、学校代表5名

## 2 校長挨拶

### ・ 最近の児童の姿について

児童は元気に登校しており、今のところ学級閉鎖等の心配はない。1月に、なかよし活動としておたのしみ会を開催し、児童で遊ぶ機会をもった。卒業生を送る会では、5年生が中心となって各学年が出し物をやりきることができた。卒業式の練習を来週から始めていく予定であり、運営協議会の方々には、来賓として卒業式に参加していただきたい。

### ・ 来年度の行事について

運動会については、暑い時期を避けるためにも、例年よりも遅い10/19を予定している。家庭訪問については、希望者が少ないことや、交通事情の観点で年度初めの多忙期に教員の負担になっていることから、希望制の懇談会に変更する予定である。学習発表会については、総合的な学習の時間のまとめを含む授業参観に変更することを考えている。休日の開催が代休日の児童への対応とあわせて保護者の負担になっていることから、平日に開催する予定である。

## 3 協議事項

### （1）本年度の教育活動の振り返りについて

#### ① 12月学校評価の集計結果について（教頭）

- ・ 保護者アンケートの「学級経営」、「教師の対応」、「児童の生活」に対しては、おおむね良い評価をいただいた。
- ・ 児童アンケートの「学校へ行くことを楽しみにしている」では、12月に大きく下がっていることから、教育相談等を通して個別に対応していきたい。「目標に向かって努力している」、「あいさつや返事をいつもしている」では、児童と教員の間ギャップがあるため、児童とめざす姿を共有するなどして丁寧に対応していく。
- ・ 教員アンケートの「多忙化解消」では、月当たりの時間外勤務時間は減少しているが、評価は低いため、多忙感の解消に向けて教員としての仕事のやりがいを高めていきたい。

#### ② 教育活動について（教務・校務）

##### ・ 特色ある学校づくり実践報告書について（教務）

新聞活用学習（NIE）は来年度も継続していく予定である。表現力の向上、運動、読書についても引き続き児童に力をつけさせるために取り組んでいく。学級の様子について各担任に聞いてみたところ、次の通り回答があった。

1年生：担任に代わって他の教員が入っても朝の会を取り回すことができるほど、学校生活に慣れてきた。

2年生：具体物や黒板を活用することで発表が上手くなった。聞く力を身に付けたい。

3年生：聞く力が向上した。また、自分たちで仕事を見つけて取り組めるようになった。

4年生：スモールステップでペア活動やグループ活動を行い、協働する力を向上させた。

5年生：リーダーとなる自覚が高まった。人の意見を受け入れられるようになった。

6年生：発表の機会を増やして自信をもたせ、中学校への準備を進めた。

けやき：通常級との交流だけではなく、けやき学級としての活動を増やした。

体力テストは全国・県平均を上回る結果となった。男子の立ち幅跳びについては県平均を下回っているため、体育教員を中心に改善に取り組んでいる。

読書については、引き続き取り組んでいきたい。

- ・ 施設・設備について（校務）

東階段の木製の手すりにささくれができており、児童が怪我をしてしまう可能性があることから、今年度中に修繕していただける予定である。

- ・ 避難訓練について（校務）

2限後の休み時間に児童に詳しい日時を知らせずに避難訓練を行ってみたところ、避難はスムーズにいったが、声を上げてしまうなど、興奮気味の児童の様子がみられた。

（振り返りについての協議） 主な話し合いの内容は以下の通りです。

- ・ 学校評価について、教員アンケートにあいさつの項目がないが、教員のあいさつはどうか。児童が教員にあいさつした際に返事がなかったこともあると聞く。

→ 教員があいさつを返さないことは基本的にはないはずだが、何か作業をしていたり、話し込んでいたりすると児童のあいさつに気づかないことがあるため、注意していきたい。

- ・ 防災訓練について、学校ではどういったことをしているのか。公衆電話や消火器の使い方の指導はあるのか。また、災害発生時の下校で保護者に連絡がつかない場合はどうなるのか。

→ 学校ではカリキュラムにないことは授業で教えないこともあり、避難訓練では主に火災や地震を想定した避難の動きを確認するため、公衆電話の使い方等の細かい点までは指導していない。消火器については、水消火器を利用した訓練を消防署と連携して行っている。災害発生時には、引き渡し下校を行うことになっているが、保護者に連絡がつかない場合は避難所でもある学校に留めておくことになる。

（2）次年度の学校運営基本方針についての意見交換（校長）

- ・ 令和6年度「めざす児童像」原案について

大きな変更はないが、児童に好きなことにチャレンジする気持ちがある一方で、最後までやりきってほしいという教員の願いがあるため、「あきらめずにチャレンジする子」とした。重点目標については、重点が分かりやすくなるように、内容を精選してきている。

（原案に関する協議）

- ・ 4月の懇談は希望制とのことだが、心配な家庭に対する学校側の接触が減ってしまうことを懸念している。

→ 必要があればその都度、個別に対応していくことを心掛けたい。

- ・ 以前は行われていた、フッ化物洗口や一輪車検定がなくなってしまったのは残念である。

→ フッ化物洗口については、経験していない学年が大半となり、リスクと効果を含めた説明会から必要になること、教員による事前準備が必要なこと、希望者のみが対象であること、市からは補助について消極的であることなどの観点から再開の予定はない。コロナ禍以後再開した歯磨きを推進して健康な体づくりに努めていきたい。一輪車検定については、現在の6年生を最後に行っていないが、個人で一輪車を練習することは可能となっている。

#### 4 その他

- ・ 来年度のPTA行事である「親子草取り」について課題提示
- ・ 来年度の「地域学校協働活動推進員」を、服部良夫様をお願いすることとなった。

#### 5 閉会の言葉

- ・ 来年度の学校運営協議会日程について確認